

第6学年 家庭科学習指導案

令和7年 月 日 第 校時

小学校 6年 組 名

1 題材名 地域の人に感謝の気持ちを伝えよう A(3)ア(イ)イ

2 題材設定の理由

(1) 題材について

本題材は、「A家族・家庭生活」の(3)「家庭や地域の人々との関わり」における高齢者など地域の人々との関わりに関する題材である。

コロナ禍で、教育活動や様々な行事が制限され、地域とのつながりが希薄化していた。そこで、地域の人々との関わりについて問題を見だし、課題解決を図ることができるようにしたいと考えた。本題材では、調理実習や布を用いた製作などで日頃からお世話になっている地域の人々とのよりよい関わりについて課題を設定し、解決に向けて、計画を立てて実践し、評価・改善する。その一連の学習過程を通して、課題を解決する力と生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育成する。

(2) 児童の実態について

児童は、家庭科の学習に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。家庭科について5月に実施したアンケートでは「家族のために家庭の仕事を分担している」と答えた児童が8割おり、家族の一員として自分にできることを実践している姿が見られた。また、「低学年の子ども、地域の幼児との関わりがある」と答えた児童は6割いた。一方で、「地域の高齢者と一緒に行事や活動に参加している」と答えた児童は3割で、地域の高齢者との関わりが少ないことが見受けられた。そこで、地域のコミュニティセンターにお願いし、家庭科の学習に協力していただくことにした。継続的に調理実習や布を用いた製作でサポートを受け、「地域の人」から次第に「(地域の)〇〇さん」と呼ぶようになってきている。

1学期の「朝食から健康な1日の生活を」で朝食の役割を考え、地域の人々のサポートを受け朝食のおかずを作った。地域の人々に教えていただきながら一緒に実習などを行うことで、児童が意欲的に活動に取り組み、苦手なことにも挑戦しようとする意欲をもつようになった。そこで、地域の人々とのよりよい関わりについて考え、工夫できるようにしたい。

(3) 指導について

本題材では「地域の人々とよりよく関わるにはどうすればよいのだろう」という課題を設定し、地域の人々との関わりの中から問題を見だし、課題を設定してその解決を図りながら学習を進める。

地域には幼児や高齢者など様々な人々が暮らしていることを理解し、自分の生活が多くの人々と関わって成り立っており、協力し助け合っていく必要があることに気付くことができるようにする。これまでの家庭科の学習を生かして、地域のことを調べたり、地域の人々を運動会に招待したりしてつながりを深めていく。そして、自分たちにできることを考え、地域の人々にお礼をするための感謝の会の実践に向けて学習を進めていく。

本時は、地域の人々との交流会について自分の関わり方がどうだったのか振り返る。その後、交流した地域の人々の思いを確認し、自分の関わり方を再度見つめ直す。そして、なりたい自分を想

像し近づこうとする意欲を高める。次時では、なりたい自分を具現化し、できることから実践し継続していこうとする態度を養っていききたい。

(4) 研究主題、副主題との関わり

本題材では、本校の研究視点「指導計画の工夫」における「学校行事、地域・家庭との『つながり』を意識した年間指導計画」に重点を置く。家庭科の製作や実習において、地域の人々のサポートを受け、お世話になった地域の人々を交流に招待する。その過程において、家庭科で学んだことを生かし、よりよい生活へつなげていこうとする児童の育成を目指したい。

3 題材の目標

- 家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることが分かり、地域の人々との協力が大切であることを理解する。(知識及び技能)
- 地域の人々とのよりよい関わりについて問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。(思考力、判断力、表現力等)
- 家族の一員として、生活をよりよくしようと、地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。(学びに向かう力、人間性等)

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることが分かり、地域の人々との協力が大切であることを理解している。	地域の人々とのよりよい関わりについて問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

5 指導と評価の計画（全6時間）

- (1) 地域の人々とよりよく関わるにはどうすればよいか、課題を設定しよう・・・3時間
- (2) 課題を解決するための交流活動（感謝の会）の計画を立てよう・・・・・・1時間
- (3) 交流（感謝の会）の実践（学級活動）
- (4) 課題を解決することができたか、実践報告会をしよう・・・・・・2時間(本時1/2)

学習過程	時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
とらえる	1	○家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることを理解することができる。 ・地域の人々との調理実習や布を用いた製作、運動会などで関わった中で上手くいったことと改善点を振り返る。 ・地域の人々と協力して生活していくために、ルールやマナーについて考える。	①家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることを理解している。 ・ワークシート		
	2	○家庭生活は地域の人々との協力が大切であることを理解することができる。 ・地域の人々と生活するために自分の生活を見直す。	②快適に生活するためには地域の人々との協力が大切であることを理解している。 ・ワークシート		
	3	○地域の人々とのよりよい関わりについて問題を見だし、課題を設定することができる。 ・地域の人々と関わるためにどんなことができるのかを考え、課題を設定する。		①地域の人々とのよりよい関わりについて問題を見だし課題を設定している。 ・計画 ・ワークシート ・振り返りシート ・行動観察	①地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・ワークシート ・行動観察
課題 地域の人々との関わりを見直し、お礼の気持ちを表すにはどうすればよいのだろうか。					

見通す	4	○地域の人々とのよりよい関わりについて実践に向けた計画を考え、工夫することができる。 ・交流に招待する計画を立て、役割分担を決める。		②地域の人々とのよりよい関わりについて実践に向けた計画を考え、工夫している。 ・計画 ・ワークシート ・振り返りシート	
実践活動：交流(学級活動)					
確かめる	5 (本時)	○地域の人々とのよりよい関わりについて、実践を評価・改善することができる。 ・個人で実践を振り返り、改善点を考える。 ・地域の人々のインタビュー動画を視聴する。 ・グループ内で実践や改善点を報告し合う。		③地域の人々とのよりよい関わりについて、実践を評価したり、改善したりしている。 ・計画 ・ワークシート ・振り返りシート	②地域の人々との関わりについて、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・ワークシート ・行動観察
振り返る	6	○地域の人々とのよりよい関わりについて、考えたことを分かりやすく表現することができる。 ・地域の人々と更に関わりを深めるためにどんなことができるのかを考え、発表する。		④地域の人々とのよりよい関わりについての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。 ・ワークシート ・振り返りシート	③地域の人々との関わりについて工夫し、実践しようとしている。 ・ワークシート ・行動観察
生かす		地域のイベントに家族で参加しようとする。			

「深い学び」を実現した子どもの姿

- ・地域の中で共に生活している地域の人々への思いやりの気持ちをもっている。
- ・地域とのつながりや協力の大切さに気付き、地域の人々とのよりよい関わりを更に深めるための実践につなげることができる。



中学校との関連 … A(3)家族・家庭や地域との関わり (4) 家族・家庭生活についての課題と実践

6 本時の学習

(1) 目標

地域の人々とのよりよい関わりについて、交流（感謝の会）を振り返り、評価・改善することができる。

(2) 展開

時間 (分)	学習活動	指導上の留意点	評価規準・ 評価方法
5	1 前時の学習を振り返り、本時の学習への見通しをもつ。	○自分のめあてが達成されているかどうかに着目するよう声かけを行う。	
	感謝の会を振り返り、よりよい関わり方を考えよう		
20	2 自分たちの交流活動を振り返る。 ・地域の人々からのメッセージを視聴する。 ・交流活動の動画を見て、班で意見を交流する。	○地域の人々の思いを確認し、客観的に自分の活動を振り返ることができるようにする。 ○写真を用いて、地域の人々の活動やお世話になった場面などを想起できるようにする。	地域の人々とのよりよい関わりについて、実践を評価したり、改善したりしている。 ・計画 ・ワークシート ・振り返りシート 【思考・判断・表現】
15	3 これから自分がどのように地域の人々と関わっていくかを考える。	○これまでの地域の人々との関わり方や交流での振り返りを基に、これからの関わり方を考えることができるようにする。	地域の人々との関わりについて、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。
5	4 本時を振り返り、まとめをする。	○本時で学んだことを振り返り、次時につなげる。	・ワークシート ・行動観察 【主体的に学習に取り組む態度】

(3) 評価及び指導の例

【思考・判断・表現】

「十分満足できる」と判断される状況	地域の人々とのよりよい関わり方について、うまくいかなかったことを基に根拠をもち、改善したことを具体的に示している。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	感謝の会の目的を再確認し、計画通りにできたこと、できなかったことを一緒に確認する。

【主体的に学習に取り組む態度】

「十分満足できる」と判断される状況	地域の人々とのつながりを主体的に関わるために、どうしたらよいか具体的に記述している。
「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導	感謝の会を想起し、うまくできたこと、できなかったことを一緒に確認し、よりよく関わるよう具体的に助言する。